



市内4カ所の幼稚園で閉園式が行われました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園児や保護者は出席せず規模を縮小し、それぞれの園舎で行われました。

前沢北幼稚園

前沢北こども園の開設により前沢地域の3幼稚園が閉園となり、3月15日に前沢北幼稚園の閉園式が行われました。千葉満佐子園長がこれまでの感謝を述べ園旗を返納。事前に撮影された動画では、園児が北幼太鼓を披露した後「園で過ごしたことを忘れません。さようなら」と話し、41年の歴史を惜しみお別れしました。



前沢南幼稚園

旧前沢町最初の公立幼稚園として昭和49年に創立した前沢南幼稚園（当時は前沢幼稚園）。3月22日に閉園式が行われました。佐藤範久園長は「地域からの協力は子どもたちの健やかな成長にかかせない宝物」と感謝。園旗の返納後、伝統の虎舞（とらまい）を披露する園児などの動画で46年の歴史を振り返りました。



前沢東幼稚園

3月20日、前沢東幼稚園の閉園式が行われ、38年の歴史に幕を下ろしました。三田卓郎園長は「地域の皆さんの厚い思いに支えられた」と感謝し、園旗を返納。事前に職員と園児のみで行った園内閉園式の動画では、園児一人一人が思い出を語り、新こども園でも頑張ることを誓いました。



小山西幼稚園

園児数の減少により小山東幼稚園へ統合となる小山西幼稚園の閉園式が3月21日に行われました。渡辺清美園長が「園の精神は卒園した人たちの心に生き続ける」とあいさつし、園旗を返納。園活動の写真スライドが上映され涙ぐむ人の姿も。32年の歴史に幕を下ろし、特徴ある円い園舎に別れを告げました。



子育て家庭と地域全体で育もう 未来に輝く 奥州っ子 子ども・子育て支援事業計画を策定しました



市は、全ての子どもが健やかに育ち、また安心して子どもを産み育てることができるまちを目指し、第2期奥州市子ども・子育て支援事業計画を策定しました。

子育て家庭が抱える課題が多様化する中、地域で安心して子育てができる環境を充実していくことが求められています。令和2年度から6年度までの第2期計画では、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する取り組みを推進します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ▶



●問い合わせ 本庁こども家庭課（☎ 34-1585）

子どもの最善の利益を目指して ～子ども・親・地域社会それぞれの視点から～

視点1 すべての子どもが健やかに育つ視点

視点2 すべての親が安心して子育てができる視点

視点3 子育てを地域全体で支えていく視点

具体的な取り組み

ポイント1 教育・保育の「待機児童ゼロ」を目指します

教育・保育施設および地域型保育施設の事業の量を確保することで、待機児童ゼロの実現に取り組みます。公立施設では「奥州市立教育・保育施設再編計画」の推進を図ります。民間事業者へは、受け入れ定員の拡大のための施設整備に対し、国、県と共に財政的支援を推進します。

ポイント2 地域子ども・子育て支援事業を実施します

第1期計画に引き続き支援事業に取り組みます。現在休止している「病後児保育事業」は、水沢病院と連携しながら再開に向けた取り組みを進めます。

ポイント3 放課後児童クラブで放課後の居場所を確保します

放課後児童クラブの需要が増加していることから、児童の安全・安心な放課後の居場所の確保に向けて計画的な整備を進めます。併せて、放課後児童クラブ事業の周知に取り組みます。また、放課後子ども教室との連携強化を図ります。

